

開館95周年記念
特別展

至高の宝蔵

— 称名寺の国宝開帳 —



畷文 三千仏図(甲本) 貞和六年(二三五〇)、幡残闕五九号片(部分)
鎌倉時代、鶴頭 鎌倉時代

2025年 3月28日(金)~5月18日(日)

開館時間	午前9時~午後4時30分 (入館は午後4時まで)	観覧料	一般400円(300円)、 20歳未満・学生250円(200円)、 65歳以上200円(100円)、高校生100円、 中学生以下、障がい者は無料※()内は20名以上の団体料金
休館日	毎週月曜日(5月5日を除く)、 5月7日(水)	交通	京急線「金沢文庫駅」下車 東口より徒歩12分 (快特で品川より33分、横浜より16分) シーサイドライン「海の公園南口駅」下車 徒歩10分 (JR根岸線 新杉田駅接続)
主催	神奈川県立金沢文庫		
協力	横浜市金沢区役所		

神奈川県立金沢文庫

Kanagawa prefectural KANAZAWA-BUNKO museum
〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町142
TEL 045-701-9069 / FAX 045-788-1060
<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/kanazawa.htm>



1267年、鎌倉幕府の重鎮だった北条実時は、武蔵国久良岐郡六浦荘金沢（現在の横浜市金沢区金沢町）の菩提寺に、一人の僧を招聘しました。菩提寺の名は称名寺、開山となった僧の名は審海といました。この時から、東アジアの本流の文化を伝える文物がこの地に集まり、日本中世の東国を代表する寺院の歴史が始まります。

開館95周年を迎える神奈川県立金沢文庫は、称名寺の寺宝を守り伝えるために建てられた博物館です。本展示では、今や国宝であふれる宝蔵の至高の品々を開帳します。

主な出陳作品

- 国宝 北条顕時像 鎌倉時代
- 国宝 金沢貞顕像 鎌倉時代
- 国宝 金沢貞将像 南北朝時代
- 重文 称名寺絵図 鎌倉時代
- 国宝 文選集注 平安時代
- 国宝 金沢貞顕書状 鎌倉時代
- 重文 弥勒菩薩立像内納入品 鎌倉時代

全て称名寺所蔵・神奈川県立金沢文庫保管

文化財保護のため会期中一部展示替えがあります。詳しくはホームページをご確認ください。

講座・講演会のご案内

特別講演会

「至高の宝蔵展の絵画をもっと楽しむ」
日時：5月11日(日) 午後1時30分～3時30分
講師：松谷美美氏

講座

①金沢文庫の仏像を読み解く1
「称名寺釈迦如来立像（上）
—清涼寺式釈迦如来像について—」
日時：4月13日(日) 午後1時30分～3時
講師：瀬谷貴之

②金沢文庫の仏像を読み解く2
「称名寺釈迦如来立像（下）
—仏師院保の事績を中心に—」
日時：4月26日(土) 午後1時30分～3時
講師：瀬谷貴之

③「称名寺の国宝で仏教を学ぶ」
日時：4月27日(日) 午後1時30分～3時
講師：道津綾乃

会場

神奈川県立金沢文庫 地下会議室

お申込方法等

金沢文庫HP「申込フォーム」、または往復はがき（おひとり様1講座1通まで）に、講座名（開催日）、住所、氏名、電話番号を明記の上、**特別講演会は4月24日（木）必着、講座①は3月27日（木）、②③は4月10日（木）必着**でお申し込みください。

いずれも、定員は70名（超過の場合は抽選）。受講には当日の観覧券が必要です。

各最寄り駅から、当館への地図は本紙表面の2次元コードからホームページをご確認ください。

（左上より）

称名寺絵図（部分）鎌倉時代、
称名寺明治絵図（部分）明治末期、
金沢文庫の観光ポスター（部分加工）昭和前期



国宝 北条実時像 鎌倉時代



重文 審海像 鎌倉時代



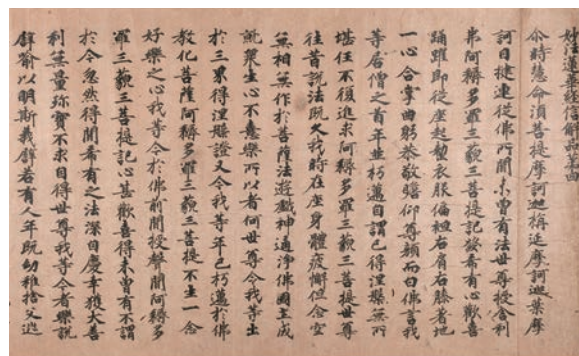
十王図のうち百日平等大王「陸信忠筆」落款元時代



重文 釈迦如来立像 鎌倉時代 徳治三年（1308）



国宝 五蔵曼荼羅和会釈巻下 鎌倉時代



国宝 法華経信解品 平安時代

次回予告

企画展 斜読徒然草

ななめよみつれづれぐさ

—近世読書のたのしみかた—

令和7年5月23日(金)～7月13日(日)